



新コスモス電機株式会社

個人投資家向けIRセミナー

2025年7月5日

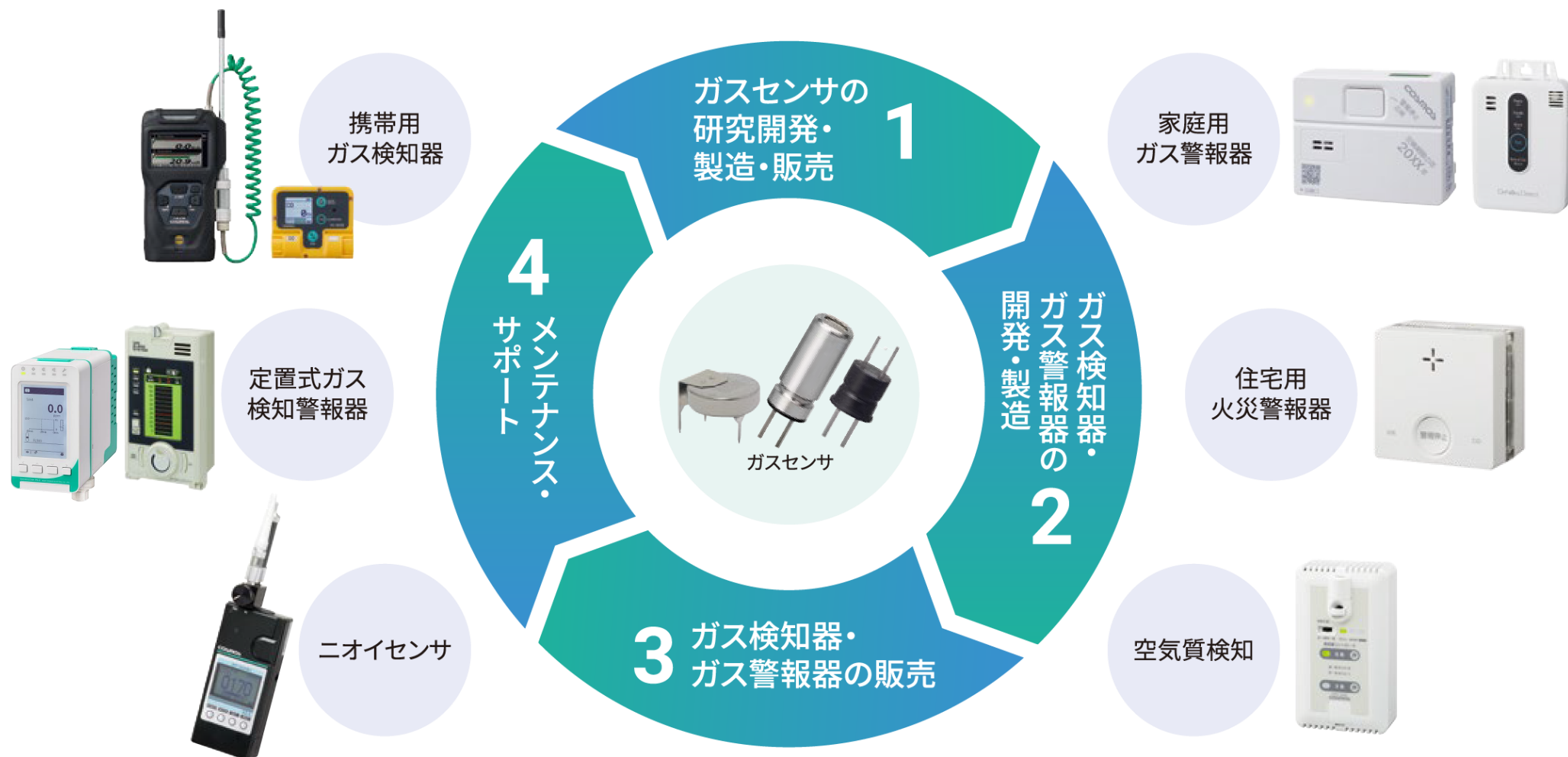




- 01 __ 新コスモス電機について
- 02 __ 当社の強み
- 03 __ 2025年3月期決算概要
- 04 __ 「中期経営計画2025-2027」
- 05 __ 2026年3月期の業績予想
- 06 __ トピックス
- 07 __ 株主還元

01 新コスモス電機について

事業内容



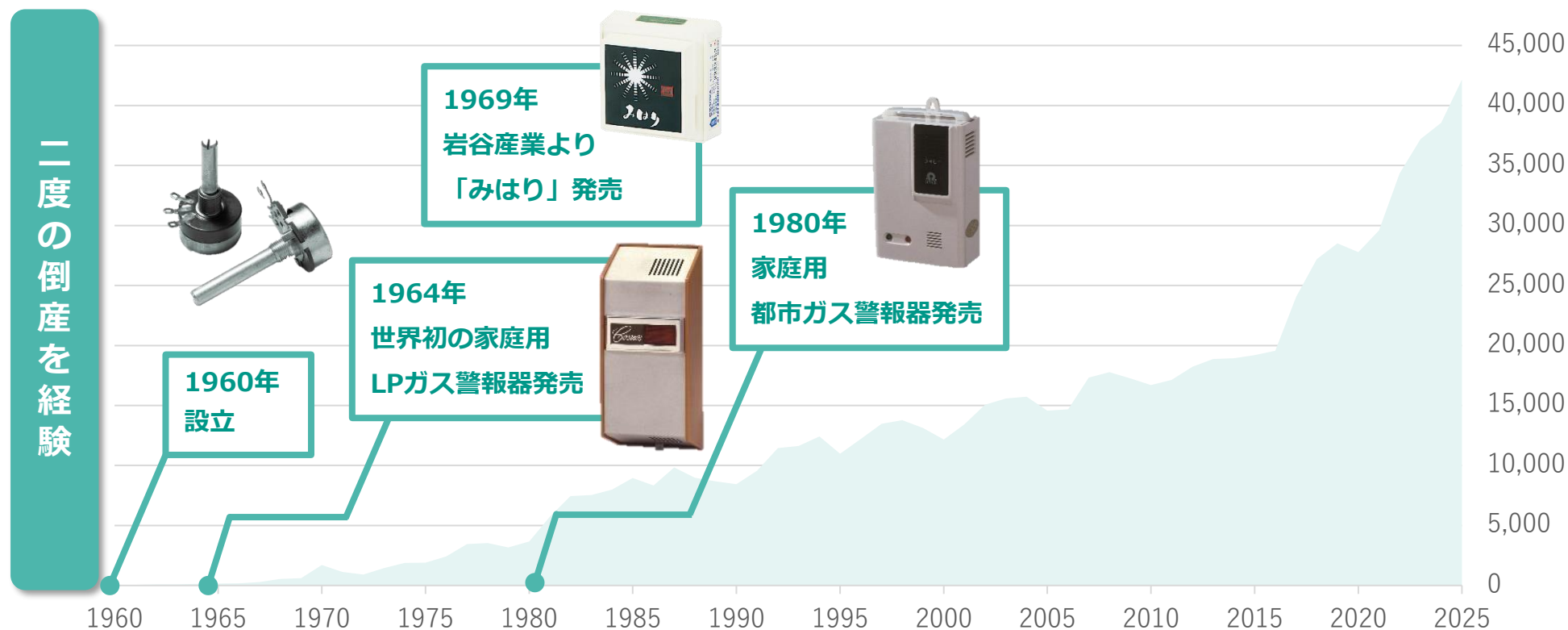
沿革



大阪ガス「ぴこぴこ」



岩谷産業「みはり」

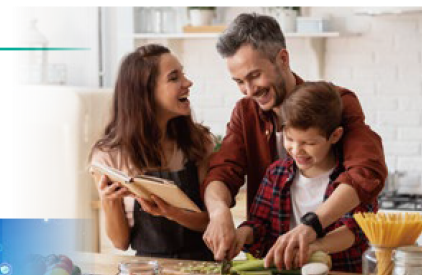


新コスモス電機グループの基本となる考え方

1

世界中のガス事故をなくす

新コスモス電機が培ったガス保安技術を、グローバルに展開する



2

安全・安心・快適な環境創りに貢献

変化する時代に対応して、「新たな価値」を提供できる会社となる



3

多様な人材が活躍でき、多様なアイデアや経験を活かすことができる土壌づくり

人的資本経営・サステナビリティ経営を推進する



センシング技術を極め、3つの考え方を実現し世界中に貢献します

世界でたくさん起きているガス事故をなくす

世界中で、多くのガス事故が発生し、多くの死傷者が出ています。
私たちのガスセンサテクノロジーで、それらの事故をなくすための活動を、これまで以上にスピーディーに実施します。

世界のガス事故事例 (2023年以降)

2023年11月
アメリカ・ニューヨーク州
集合住宅ビル
負傷者：15名

2023年6月
フランス・パリ
建物
死者：1名
負傷者：29名

2024年4月
ベトナム・クアンニン省
炭鉱トンネル
死者：4名
負傷者：7名

2023年6月
中国・寧夏回族自治区
焼肉店
死者：31名
負傷者：7名

2023年3月
アメリカ・ペンシルベニア州
チョコレート工場
死者：3名
負傷者：8名

2024年12月
イタリア・フィレンツェ
ガス精製所
死者：2名
負傷者：9名

2023年3月
インド・パンジャブ州
工場
死者：11名

2025年2月
台湾・台中市
百貨店
死者：4名
負傷者：26名

都市ガス事故死傷者数の海外比較

	死亡者	負傷者
フランス	10名	43名
イタリア	23名	385名
イギリス	10名	330名
米国	50名	210名
日本	1名	11名

(出典) 経済産業省 第4回産業構造審議会 保安分科会
ガス安全小委員会 (2014年6月9日) 参考資料2-1より抜粋
※2010年 (フランスは2011年) のデータ

事業内容：セグメント別売上高比率

業績の状況 (2025年3月期)

業務用携帯型ガス検知器関連

売上高: 6,400百万円
(前年度比1.7%増)



15.2%

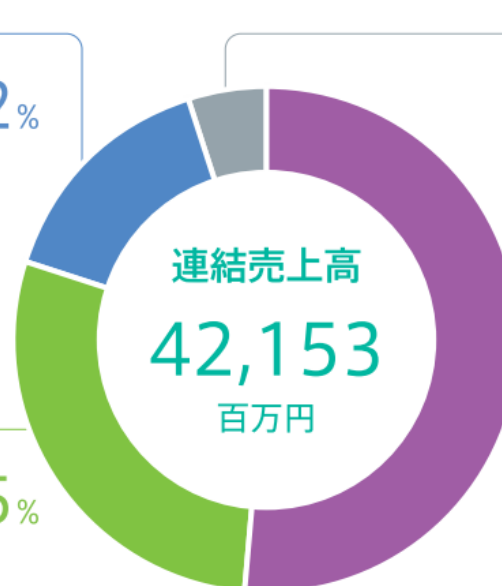
工業用定置式ガス検知警報器関連

売上高: 11,993百万円

28.5%



産業用
43.7%



その他 4.8%

家庭用ガス警報器関連

51.5% 売上高: 21,735百万円

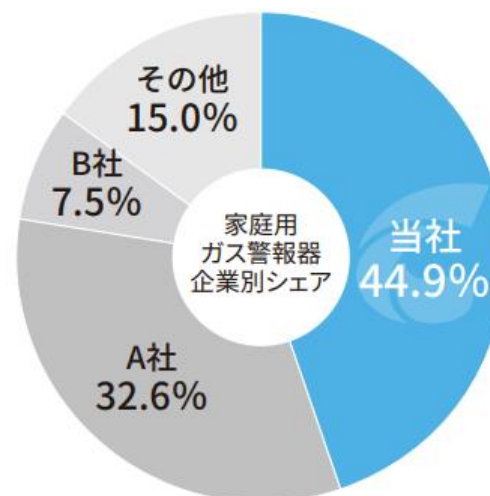


家庭用
51.5%

事業内容：家庭用ガス警報器関連

家庭用ガス警報器

- 1964年に世界で初めて当社が開発
- 台所に設置し、都市ガス／LPガスの漏れを検知すると音声やランプでお知らせ
- 国内では、設置義務ではないが、ガス事業者の取組により都市ガス約5割／LPガス約8割の普及率。
- 従来AC電源タイプのみだったが、2015年に電池式を発売。
- スマホ連動ができるIoT警報器も発売。
- 近年、北米では州や市により設置義務化の動きがある。



家庭用ガス警報器の 国内トップシェア



出典：(株)富士経済
「DXを実現するセキュリティ関連技術・
市場の将来展望2023」



都市ガス警報器



LPガス警報器



北米向け
電池式メタン警報器



事業内容：家庭用ガス警報器関連

住宅用火災警報器

- ・国内では、2011年からすべての住宅で設置義務化。
- ・ご家庭の寝室、階段・廊下、リビングで万が一の火災（煙または熱）を監視。
- ・火災警報器の交換目安（電池寿命）は約10年のため、ここ数年電池切れが増え始めている。
- ・当社はガス検知技術を活かし、火災時に発生する一酸化炭素も検知できるタイプに注力。

一酸化炭素センサで **もっと早く、**
火災を見つける警報器



PLUSCO
プラスコ

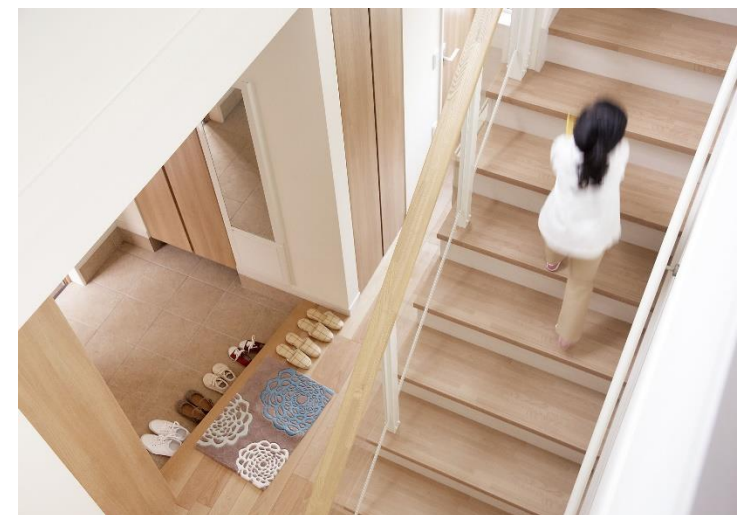
一酸化炭素検知機能付き火災警報器

日本製

検定
合格品

電池寿命
10年

煙センサに加え、
一酸化炭素センサをプラス。
火災をより早くお知らせし、
逃げ遅れを防ぎます。



事業内容：産業用ガス警報器

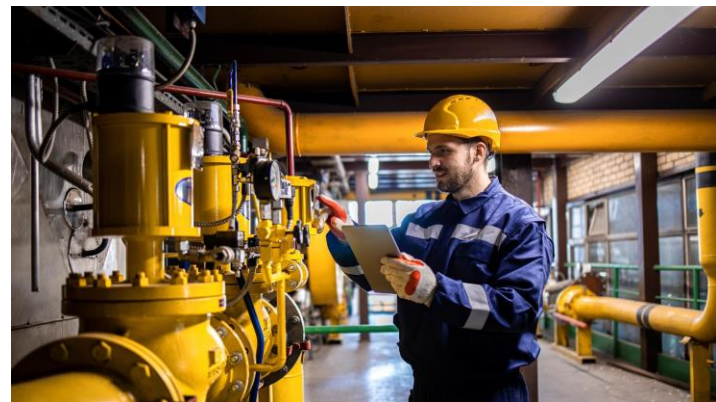
工業用定置式ガス検知警報器

- 工場や試験室などに定置してガス漏えいを常時監視。
- ガスセンサが搭載された「ガス検知部」と濃度・警報表示をする「指示警報部」で構成される。一体型もある。
- 高圧ガス保安法などで設置やメンテナンスの頻度が定められていることが多い。



業務用携帯型ガス検知器

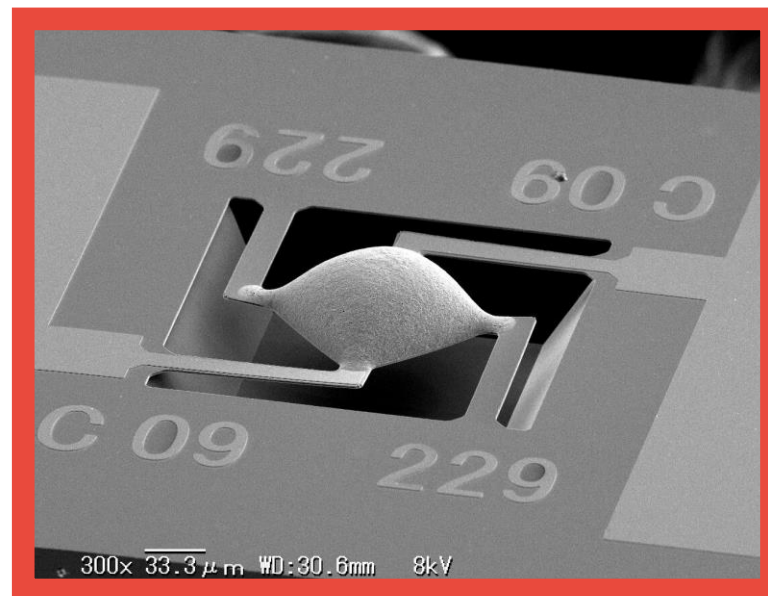
- 作業員が身に着けて点検作業などで使用。
- 熱中症防止のための暑さ指数表示機能搭載タイプや、Bluetoothを搭載しスマホと連動が可能なタイプもある。
- 労働安全衛生法などで設置やメンテナンスの頻度が定められていることがある。



02 当社の強み

その1：

独自のMEMSガスセンサをはじめとする高いガスセンサ技術力



MEMS熱線型半導体式センサ

センサ素子は0.1mm四方で、体積1/500、消費電力1/600（当社従来比）を実現

その2：

世界トップレベルのガスセンサ生産能力



**コスモスセンサセンター
(兵庫県三木市)**



**淀川工場
(大阪府大阪市)**



**フィガロ技研株式会社
(大阪府箕面市)**

03 2025年3月期決算概要

決算サマリー

- 前年度と比較して増収・増益。グループとして初の**売上高400億円を突破**
- 海外向け製品の売上増に伴い、**売上高は前期比9.4%増**
- 売上好調に加え、円安の影響もあり**営業利益は前期比26.2%増**

売上高

海外向けの家庭用ガス警報器、半導体業界向けの工業用定置式ガス検知警報器が堅調。初めて400億円を突破。

前年度比 +9.4%

421.53億円

営業利益

売上増に加え、円安の影響もあり前期より増加

前年度比 +26.2%

51.55億円

海外売上高比率

北米を中心に
グローバル展開に
注力

46.2%

前年度比 +1.2ポイント

総資産

新工場建設や
設備投資による
増加

672.88億円

前年度比 +0.7%

自己資本比率

70.8%

前年度比 +4.4ポイント

セグメント別状況

家庭用ガス
警報器関連

設置義務化により北米向け電池式メタン警報器が好調。国内向け都市ガス警報器も堅調。

業務用携帯型ガス
検知器関連

国内の都市ガス業界・電力業界向けガス検知器が好調。
メンテナンスサービスが堅調に推移。

工業用定置式ガス
検知警報器関連

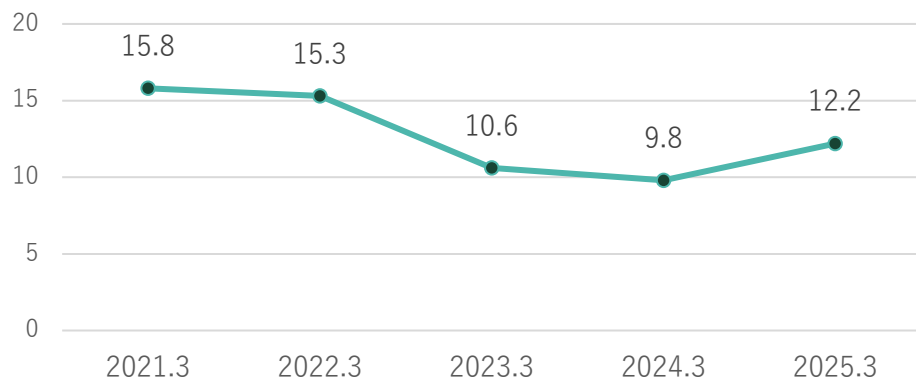
国内外の半導体業界向けおよび国内の自動車業界向けガス検知警報器が好調。
メンテナンスサービスが堅調に推移。

(単位：百万円)

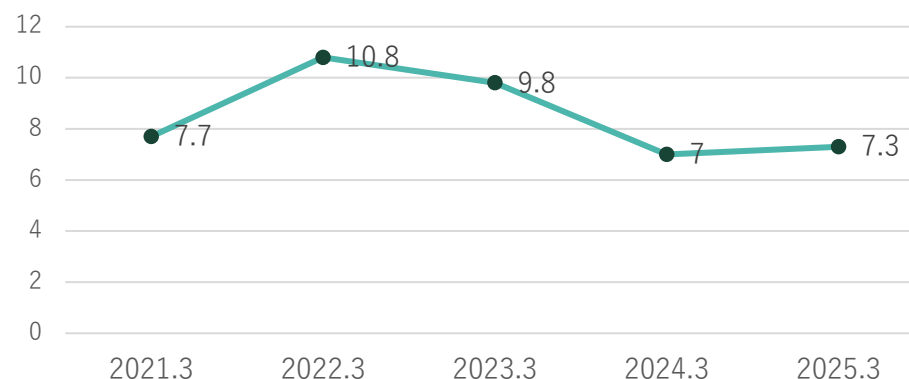
	2024年3月期		2025年3月期		前期比率
	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	
家庭用ガス 警報器関連	19,288	50.1	21,735	51.5	112.7%
工業用定置式ガス検 知警報器関連	11,305	29.3	11,993	28.5	106.1%
業務用携帯型ガス検 知器関連	6,293	16.3	6,400	15.2	101.7%
その他	1,658	4.3	2,024	4.8	122.1%
合計	38,546	100.0	42,153	100	109.4%

営業利益率、ROE、PBR、ROICの推移

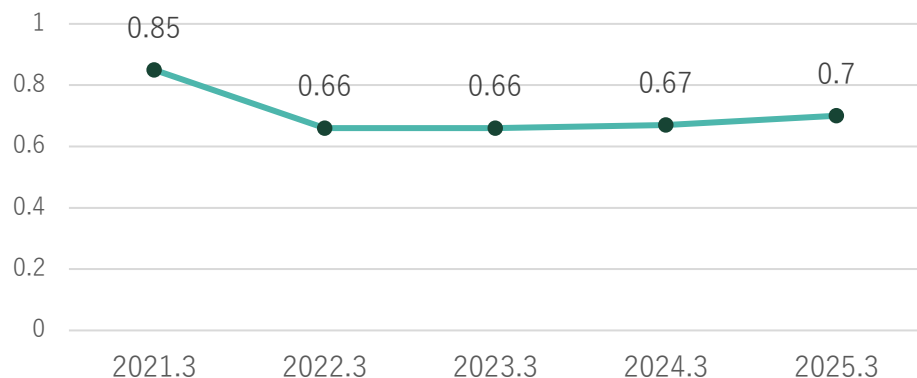
営業利益率 (%)



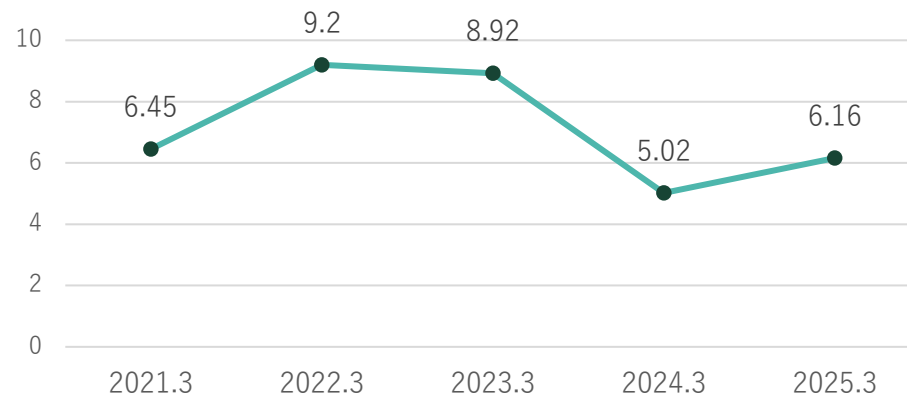
ROE (%)



PBR (倍)



ROIC (%)



04 「中期経営計画2025-2027」

定性目標

**MEMSガスセンサ技術を軸にグローバルに展開し、
ガス事故ゼロとカーボンニュートラル社会の実現に貢献する**

「中期経営計画2025-2027」の考え方

当中期経営計画期間は「展開と拡張」のための3年間とします。これまでの「投資」の収益化を図る「展開」では主に北米向け電池式メタン警報器市場拡大を、将来に向けた「拡張」としては、主に欧州におけるカーボンニュートラル（水素）市場の基盤づくり、新たな市場開拓に取り組みます。

中期経営計画2022-2024

投資

- ・ 淀川工場開所
- ・ メキシコ工場稼働
- ・ 台湾事務所現地法人化
- ・ 半導体市場向けガス検知器の新製品開発
- ・ パリ事務所設立



淀川工場



パリ事務所

中期経営計画2025-2027

展開 (投資の収益化)

- ・ 北米向け電池式メタン警報器の市場拡大
- ・ 半導体市場における売上拡大
- ・ MEMSガスセンサの量・質の充実



北米向け
電池式メタン警報器



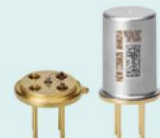
半導体市場向け
ガス検知器



拡張

(将来に向けた新市場・新事業の基盤づくり)

- ・ 欧州を中心としたカーボンニュートラル（水素）市場の基盤づくり
- ・ 電池式LPガス・水素警報器の開発・普及



MEMSガスセンサ

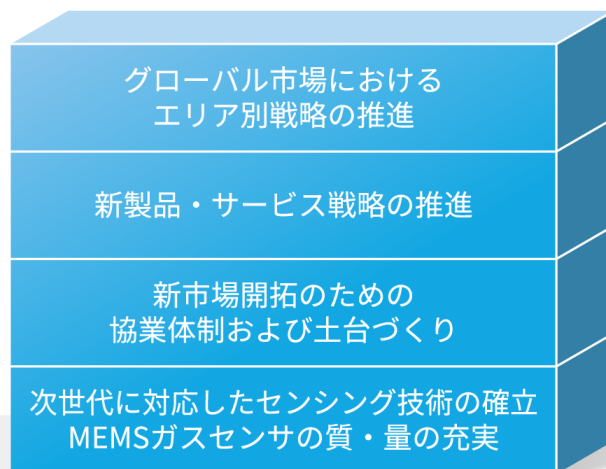


車載用
水素ディテクタ

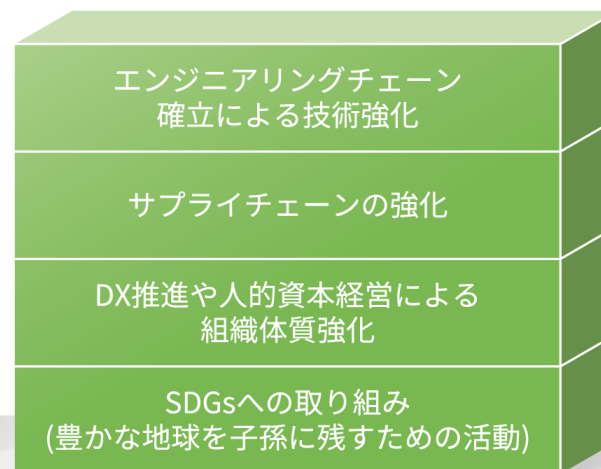
戦略体系

新コスモス電機の基本となる考え方のもと、成長戦略として投資の収益化と将来に向けた拡張を図りつつ、それらを支える基盤戦略を遂行します。

成長戦略



基盤戦略

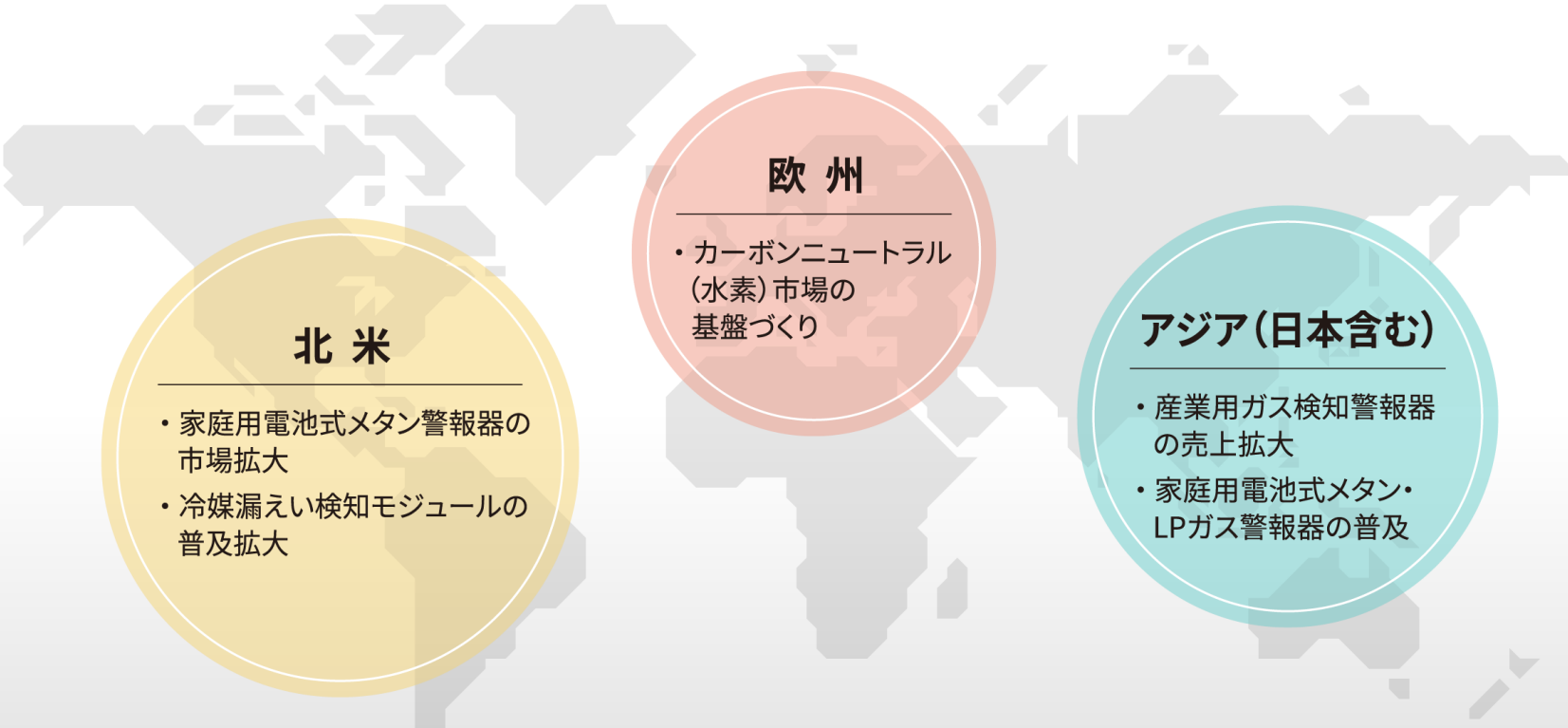


基本となる考え方

- ・世界中のガス事故をなくす
- ・安全・安心・快適な環境創りに貢献
- ・多様な人材が活躍でき、多様なアイデアや経験を活かすことができる土壌づくり

[成長戦略]グローバル市場におけるエリア別戦略の推進

経営環境の変化に対応するため、グローバル市場を視野に入れ事業ポートフォリオを変革させます。
「中期経営計画2025-2027」は、展開と拡張の時期と位置づけ、主となる市場を日本国内中心から『北米、アジア（日本含む）、欧州』の3エリアにシフトし、特に北米での成長軌道確立を目指します。



北 米

- ・家庭用電池式メタン警報器の市場拡大
- ・冷媒漏えい検知モジュールの普及拡大

欧 州

- ・カーボンニュートラル（水素）市場の基盤づくり

アジア（日本含む）

- ・産業用ガス検知警報器の売上拡大
- ・家庭用電池式メタン・LPガス警報器の普及

[成長戦略]北米における家庭用電池式メタン警報器の市場動向

- ・北米では配管の老朽化に伴うガス爆発事故が増加傾向
- ・2018年にニューヨークのエネルギー事業者Consolidated Edison, Inc.(Con Edison)が、業界に先駆けて電池式メタン警報器の設置を開始
- ・メイン州(2022年1月)・ニューヨーク市(2023年12月)で家庭用ガス警報器の設置が義務化
- ・現在もイリノイ州他、計6つの州で法令案が提出されており、法令化の可能性がある
- ・2023年ホームセンター大手Lowe'sで電池式メタン警報器の販売開始

約2,000万世帯

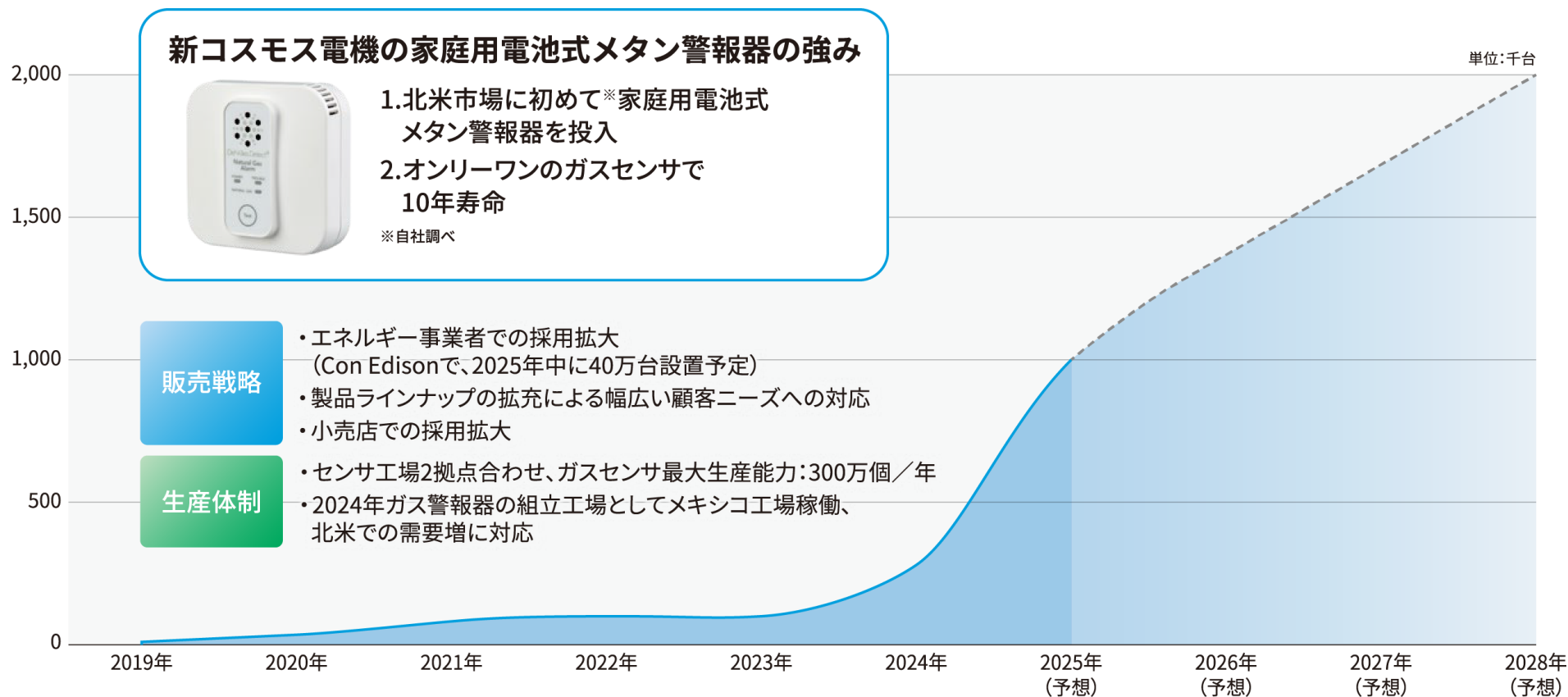


約350万世帯

メイン州
ニューヨーク市

メイン州
ニューヨーク市
イリノイ州
他

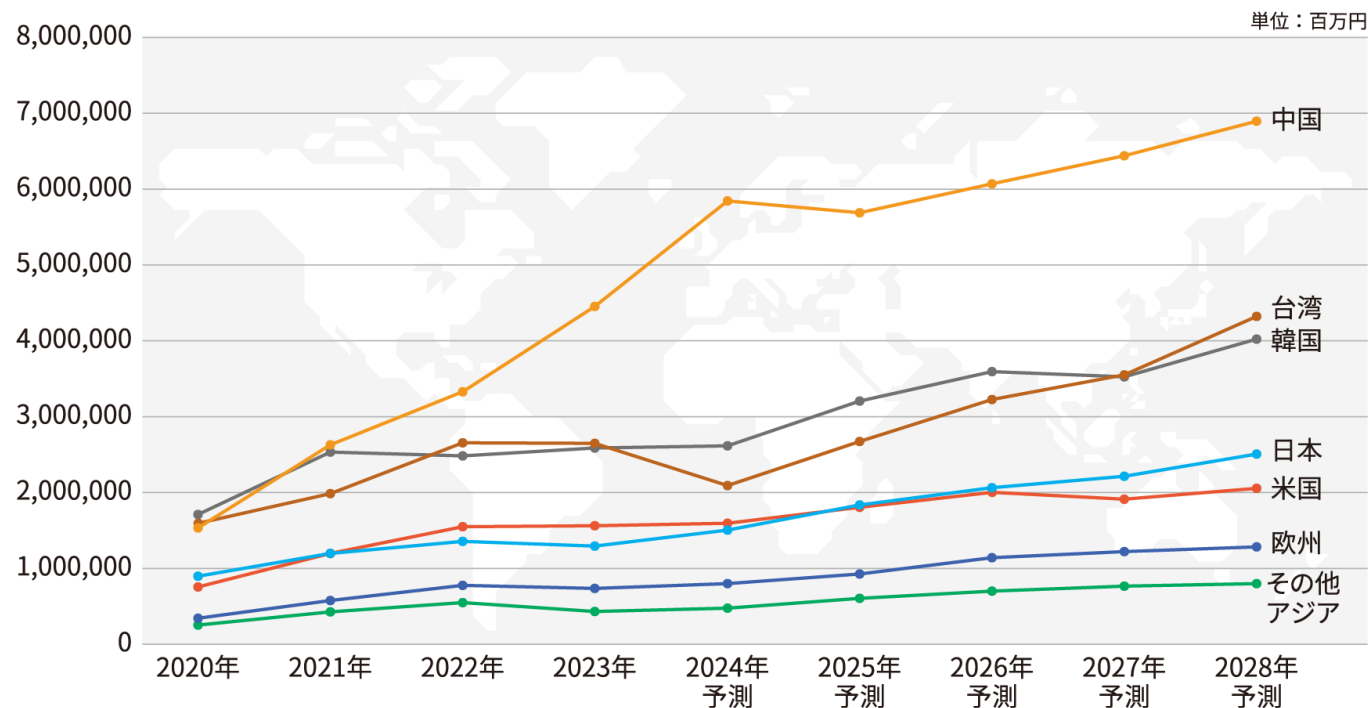
[成長戦略]北米における家庭用電池式メタン警報器拡販の戦略



[成長戦略]半導体市場への取り組み

世界的に拡大を続ける半導体市場において、新製品の販売を強化し売上拡大を図ります。

世界半導体製造装置・試験・検査装置市場の推移(地域別)



出典：2025-04-18 世界半導体製造装置・試験・検査装置市場年鑑 2024



半導体市場向け
ガス検知器
PS-8

世界初のコスモス式

校正済みのセンサを現場で交換することで、現場でのガス校正が不要でランニングコスト削減。

世界初のガスセンサで シランを高感度検知

独自の熱線型半導体式センサでシランを高感度検知。長寿命化を実現。

オンリーワンの 熱分解コンバーター一体型センサ

NF3、COS検知において熱分解コンバーター一体型センサを開発。コストパフォーマンス向上。

[成長戦略]カーボンニュートラル（水素）市場への取り組み

① 車載用水素ディテクタ



トヨタ自動車のMIRAIに採用

2021年3月よりトヨタ自動車(株)のMIRAI(ミライ)に採用。近年では、2024年9月に「InnoTrans 2024」で披露された水素エネルギー高速列車CINOVA H2にも搭載されました。FCEV以外でも、燃料電池や水素の発電機、フォークリフトなどニーズが広がっています。

② 防爆型ガス検知部／水素火炎検知器



© 岩谷産業株式会社

水素ステーション用ガス検知警報器 国内シェア80%以上

産業分野向けに40年以上前から水素を選択的に高感度に検知するガスセンサの研究開発に着手。その技術力が認められ多くの水素ステーションで採用されています。

③ 家庭用電池式水素警報器



世界初の家庭用 電池式水素警報器を開発

家庭用エネルギーとして水素の導入が検討されているヨーロッパを中心に試験導入が始まっています。

「トヨタイムズ」で世界初の家庭用電池式水素警報器が紹介されました

**トヨタイムズ
ニュース**

動画URL



取材の様子

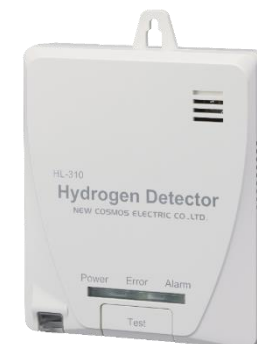


家庭用電池式水素警報器

イギリス・SGN社のグリーン水素プロジェクト「H100 Fife」に
当社の世界初の家庭用電池式水素警報器が採用されました



家庭用電池式水素警報器

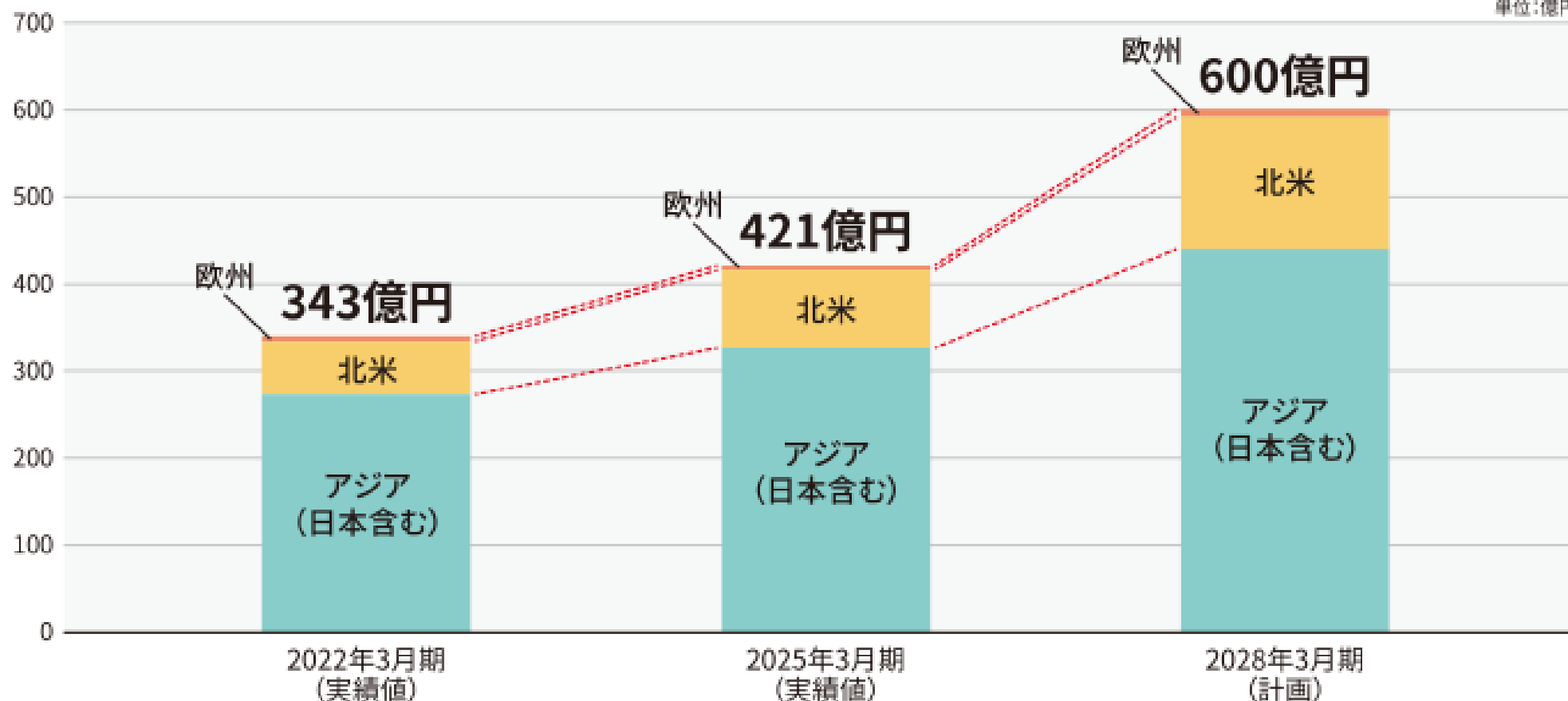


△天井に設置されています

[成長戦略]エリア別売上計画

売上高の推移

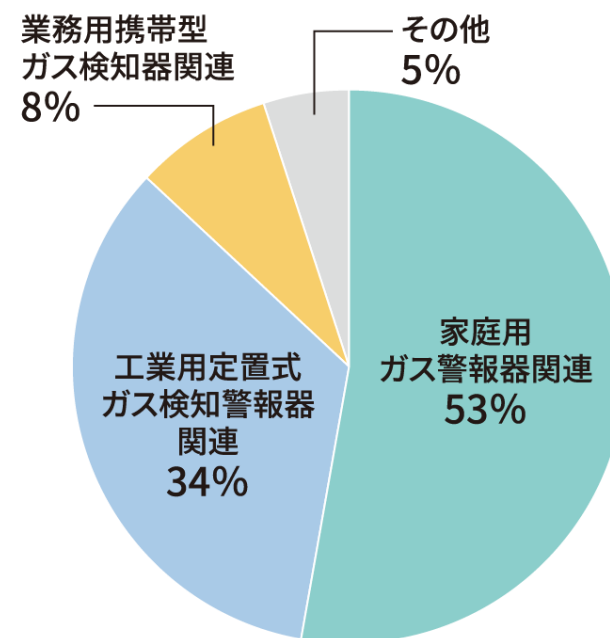
単位:億円



定量目標

	2025年3月期 (実績値)	2028年3月期 (目標)
連結売上高	421.5億円	600億円以上
海外売上高比率	46.2%	50%以上
営業利益率	12.2%	12.5%以上
PBR	0.7	1.0
ROE	7.3%	8.5%
ROIC	6.1%	8.0%

セグメント別売上構成 (2028年3月期)



「中期経営計画2025-2027」の投資計画と配当計画

投資計画

「北米向け家庭用電池式メタン警報器の生産増への対応(約20億円)」をはじめ、「成長戦略を支える新製品の開発」「海外拠点の整備」など、3年間で約80億円の投資を計画しています。

- ・ガス警報器・ガスセンサの生産増対応や、BCP対応のための設備投資
- ・海外における拠点整備のための投資
- ・MEMSガスセンサをはじめとする各種センサや、光・映像・AIを応用した新技術に対応した製品開発投資や知的財産活用に向けた投資
- ・従業員教育制度の整備、福利厚生の実施、AIなどのDX基盤、働き方の多様化への対応など、従業員の働きやすさや働きがいの向上、人材確保に向けた投資

配当計画

配当性向30%を目指し、株主の皆様への利益還元につとめます。

05 2026年3月期の業績予想

業績予想

- 売上は、米国向けの家庭用ガス警報器や半導体工場向けのガス検知警報器の売上拡大等により、前期比13.9%増の38,546百万円を予想。
- 営業利益は、売上増がある一方で、新工場や生産設備の償却が本格的にスタートすることから、前期比8.6%増の5,600百万円を予想。

(単位：百万円)

	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (予想)	前期比増減率
売上高	38,546	42,153	48,000	13.9%
営業利益	4,086	5,155	5,600	8.6%
経常利益	4,809	5,451	5,720	4.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,959	3,376	3,450	2.2%

06 トピックス

大阪・関西万博会場の安全対策として当社の警報器が800点以上設置されています

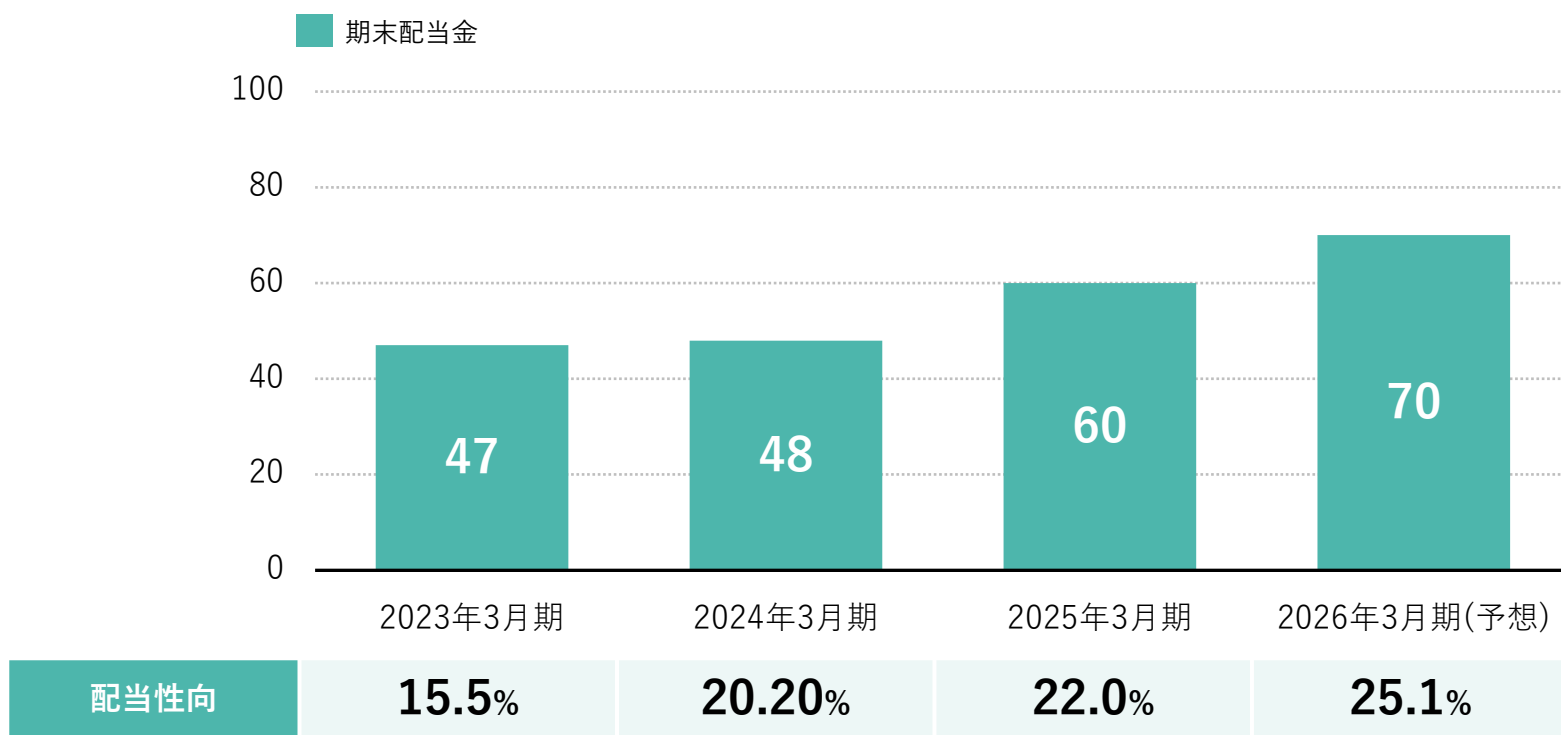


万博会場に設置されている当社のガス警報器

07 株主還元

配当金の推移

2025年3月期の期末配当金については、1株当たり60円。2026年3月期については、1株あたり70円を予想しています。



最後に…

「世界中のガス事故をなくしたい」
という当社の仕事を応援してください。

ご清聴ありがとうございました。



新コスモス電機株式会社

東証スタンダード | 6824